



# 新庁舎等建設工事契約が可決

総額

100億円超

やはり

新庁舎等建設の工事契約議案が可決されました。競争入札で費用が下がりましたが、依然として総額100億円を超える事業です。(建築費約88億円、移転費・備品費・管理費等約16億円)

日本共産党は、庁舎の建て替え自体は必要だと考えますが、庁舎部分が現庁舎の1.5倍の規模になることや費用負担について、広報にも掲載されず市民の理解を得たとは言えず、議案には反対しました。また、市の土地である開田保育所跡地を民間収益施設に貸与する方針も市民不在です。

日本共産党は地元事業者の参加も求め、一定額を地元発注する条件設定がされました。さらに議会は地元事業者への発注を増やすよう求める決議をあげました。

お隣の向日市では旧庁舎と同程度の広さの新庁舎が建設されています



## 放課後児童クラブ 条例の基準を守れ

児童数の増が見込まれる長九小で、放課後児童クラブの施設が建て替えられます。130人の利用を想定していますが、1クラブ(2クラス)で運営する予定です。

市の条例では「1単位おおむね40人」とあり、本来なら3クラブ必要です。自ら定めた条例を守るよう求めました。

## 共生型福祉施設 療育の体制確保 寄宿舍の存続を

向日が丘支援学校の建て替えに合わせ、その敷地の一部に市が「共生型福祉施設」として、竹寿苑(2024年)、児童発達支援センター・グループホーム等(2026年)などをつくりまします。しかし、それまで療育の体制不足を放置してはならないと対策を求めました。

また、京都府は支援学校の寄宿舍を廃止するといいますが、グループホームの体験利用では「生きる力をはぐくむ」寄宿舍の役割は果たせません。寄宿舍の存続が必要です。



## 数字いじりではなく保育所増やせ

市は待機児童の数を、市基準(保育所に入れていない)

待機児童数	2018年	2019年	2020年
国基準	0人	0人	0人
市基準	72人	69人	35人

から、国基準(30分圏内に空きがあれば待機とみなさない)に変えると言います。

保護者が求めているのは、数字の上だけの待機児童ゼロではなく、保育所に入れることです。



## 西乙訓高の避難所開設 市長答弁が後退

2019年3月議会で市長は「避難指示のような状況になれば西乙訓高校を避難所開設する」と答弁していました。

しかし今回「避難指示になってから移動しても遅い。避難準備の段階から開設を」と求めた質問に対し「避難指示で必ず開設するわけではない」と以前の答弁より後退しました。



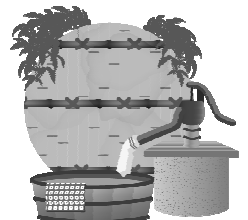
## 水道「広域化」で 地下水は守れるのか?



京都府は府内を3圏域に分け、事業統合も視野に入れた「広域化協議会」を設置しています。

府営水道と市町村水道(地下水)の施設の統廃合を検討し、中には乙訓地域の地下水施設をすべて廃止する選択肢もあります。

「広域化で長岡京市の地下水は守れるのか」の質問に、市長は「地下水50%・府営水50%は市の方針」と答えましたが、将来については「絶対に守ると言い切っているのか」と言葉が濁りました。



署名  
ありがとう  
ございました。

2732人の市民に署名いただいた「指定袋ではなくごみの減量・分別の推進こそ」「資源ごみ回収や古紙回収を便利に」「ステーションへの人の配置」「生ごみ処理・廃油回収など

の促進」「大量廃棄の社会の見直し」などを求める請願に、日本共産党は賛成しましたが他の議員の反対で否決となりました。引き続き、ごみ減量の実現へ提案を続けます。



## 指定ごみ袋 市民アンケートの結果と反する

市の行ったアンケートでは、68.7%の市民が「まずは指定でない透明・半透明袋」を選んでいきます。何のためのアンケートだったのでしょうか。

宇治市や八幡市などでは、透明・半透明の袋なら使えるのに、長岡京市では指定袋のみとされており、「なぜ?」という声が上がっています。

ごみ減量は市民の理解あってこそです。

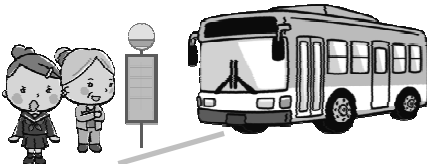
## 2017年度 市が実施の アンケート結果



1位	指定でない透明・半透明袋
2位	指定でない透明・半透明袋から始め、段階的に
3位	指定のごみ袋
4位	有料化

## 阪急バス 3割減便

### 市長は減便回避へ 阪急バスに要請を



市地域公共交通会議で、阪急バスから「長岡京線の便数を3割減らしたい」と表明がされました。

しかしバスは減らせば減らすほど不便になり乗客が減る悪循環になります。8年前に路線廃止が提案されたときには、小田市長は反対表明し、市民の声の後押しもあり、路

線廃止は撤回され減便幅も縮小されました。

中小路市長にも、「何としても減便の撤回を求めると共に、市としての支援と合わせ、阪急バスと一体で収支改善の努力を」と、公共交通を守る役割を果たすよう求めました。

あなたのご意見・ご要望をお寄せください。  
コロナ等でのお困りごともお聞かせください。



◀ メールなら  
HPこちら ▶



よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話

党議員団（直通）電話955-9551 FAX955-9741

党乙訓地区委員会 電話954-5166

メール  jcpnagaokakyo@gmail.com

日本共産党長岡京市会議員団 検索